

平田未来ビジョン ～ Hirata Diamond ～

ダイジェスト(要約版)
平田商工会議所 2018.11月

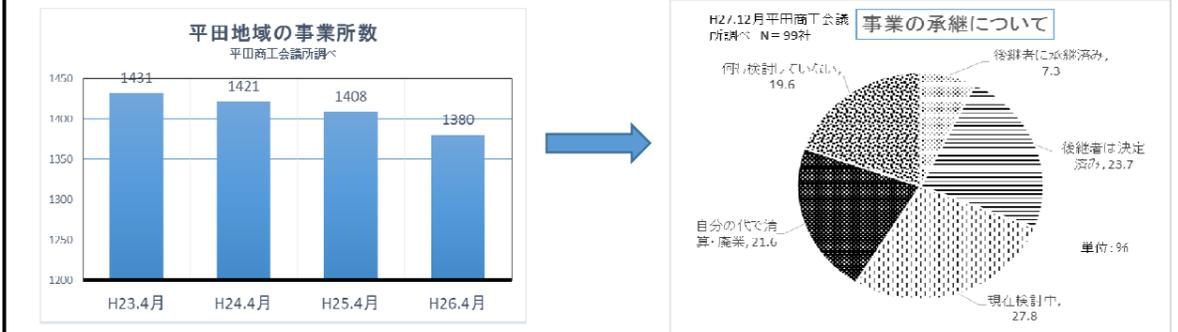
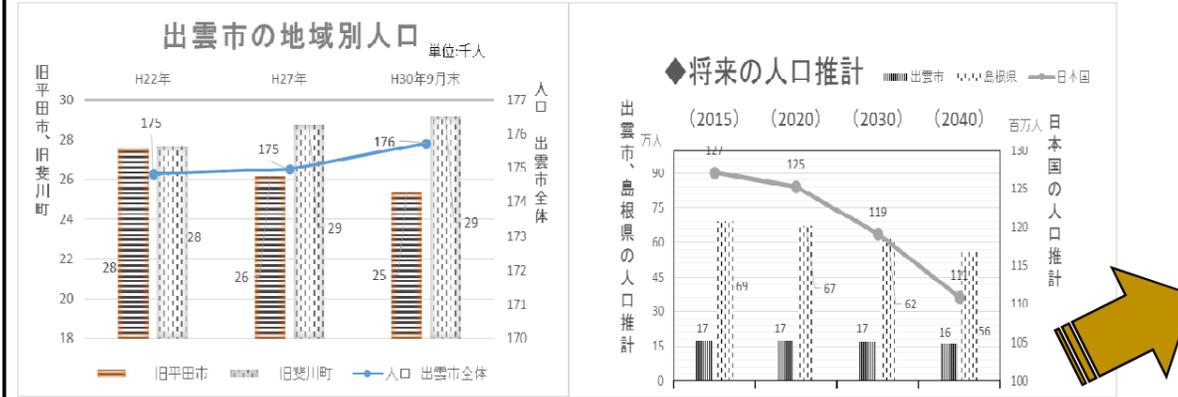
目的

出雲市東部の都市拠点である平田地域の
○今後の産業・経済の活性化の方策検討と
○必要な地域機能を検討し、
関係機関と実現に向け取り組む指針とする。

策定方法

◇平田商工会議所内の検討会議8回開催
「出雲市東部都市拠点地区活性化協議会」
(平成18年度設立、平成29年度改組)
◇ワークショップ開催(協議会に高校生、大学生含む)

現状分析



強み・弱みなど

- 強み**
 - 松江、出雲の中間点でどちらにも近い
 - 空港、高速道路ICが近い
 - 中心部はコンパクトに都市機能が集積
 - まちなかに木綿街道という歴史景観が残る
 - 一式飾りが街中に常設展示されている
 - 中心部に川や緑が多い
 - 歴史的価値の高い社寺仏閣がある
 - 若い芸家、料理人、デザイナー等が少しずつ増え
 - 若いUターン、後継者が起業、事業承継あり
 - 電車の運転体験ができる
 - 県東部一円から生徒が通う公立高校がある
 - サンレイク、湖遊館など域外から集客力ある施設あり
- 懸念材料、脅威**
 - わが国の人口が減少に向かう
 - 斐川、出雲エリアの人口増、商業集積が増
 - 平田地域の少なからぬ老舗、事業所が事業承継難
 - 農村文化、農村コミュニティ衰退の兆し
- チャンス、機会、ポテンシャル**
 - 出雲大社など集客力ある観光拠点が近い
 - 斐川エリア、出雲エリアの人口増加傾向
 - 外国人観光客も地方に関心向けつつある
 - 県立大学出雲キャンパスが近い
 - 島根県水産技術センター内水面浅海部がある
 - 松江～出雲大社の道中、立ち寄り・休憩場所が少ない
 - 川、湖、海と3つの水系がある(豊富な食材、研究フィールド)
 - 海岸線が長く浦々に集落、港あり
- 弱み、課題**
 - 観光商品(ツアー)化されているものが少ない
 - 空家空き店舗が増加中
 - 駅前の賑わいが少ない
 - 一式飾りの後継者難、展示環境も難
 - 集客拠点から平田地域内への回遊が少ない
 - 観光案内所がない
 - 観光拠点、パワースポットが点在、二次交通がない
 - 近いがゆえに若年層が出雲・松江に転居あり

平田地域がめざす将来像

- 交流人口・ファン人口から定住へ
人口減少時代のなか・・・ ファン人口 > 交流人口 > 定住人口
- 好立地を活かす
松江と出雲の中間点、空港や高速道路ICからも至近 → ①観光客の往来、②サテライトオフィスや遠隔・在宅勤務に適地、③住環境のよさで居住増、④河下港を活かした物流拠点
- 湖西地域及び島根半島への結節点に
湖西地域および島根半島へのターミナル(駅・交通拠点)、ハブ拠点(周辺への連結拠点)に。
- 中心部と周辺部のバランスよさ
コンパクトな都市機能の中心部と自然あふれる周辺部・沿岸部のバランスがよく住みやすい地域
- 光る地域資源
歴史文化、観光資源、川・湖・海3つの水系の幸、南向き斜面の山の幸(柿・お茶等)、一式飾りや河下盆踊り等の独自文化、木綿街道など、地域の誇りがひとをよびこむ。
- 企業が元気
事業継続が地域を支え、新事業や新商品の開発チャレンジが明日の地域をつくる
- 人を活かす
次代を担う若者、後継者、独立・起業創業者、こだわりの店、工芸やITなどの匠、等が光る地域。

振興策

- ◇観光の振興 ◇回遊の促進 ◇都市交流の促進(日本版CCRC、2地域居住等) ◇Uターン促進 ◇定住促進 ◇空家空き店舗活用
- ◇観光動線再構築(空港バスを平田経由に) ◇ビジネス拠点に(サテライトオフィス、在宅勤務～IT、デザイン等の業種招致) ◇ビジネス催事誘致(展示会、研修会、会議など) ◇物流拠点
- ◇道の駅でハブ機能強化
- ◇居住環境のよさ発信 ◇移動手段確保 ◇課題先進地からの発信
- ◇一式飾り ◇食の恵み味わえる街 ◇木綿街道 ◇川・湖・海の資源・幸などを磨く
- ◇事業承継 ◇域外市場への挑戦 ◇生産性向上 ◇リピータを作る商売・ビジネス ◇切磋琢磨 ◇大学等との連携 ◇産業集積を活かす
- ◇若者を育む ◇匠人材を育む ◇地域活動の連携

- 来たい平田、住みたい平田に
- 木綿の集散地から人の集散地・往来地に

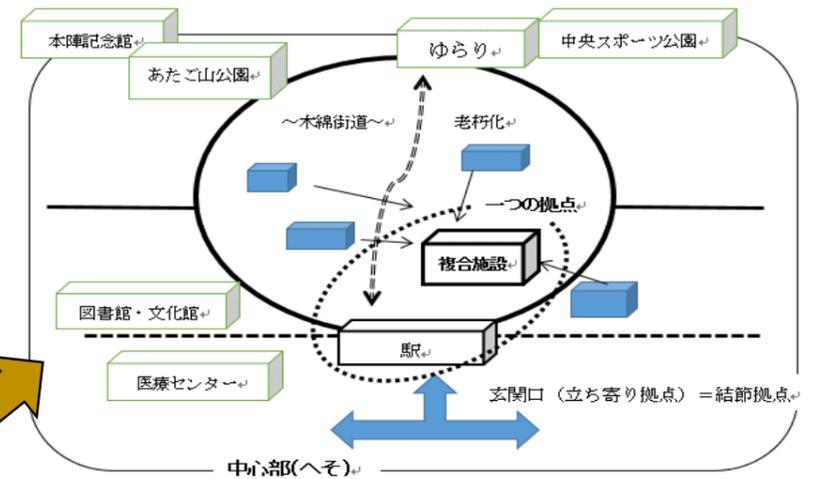
まち造りのあり方(ハード面)

- 好立地を生かし立ち寄り易いまちに
・環状線を通してまちから立ち寄るまちへ
- 雲州平田駅に「道の駅」、ターミナル機能やハブ機能を強化
・電車の駅に道の駅を併設
- コンパクトな中心部と人が回遊・交流するまち
・高齢化社会、できるだけ近距離で生活できるように
・主要な都市機能(医療・買物・行政・文化等の拠点施設)は中心部に
・中心部=平田の「へそ」として重要
・南北軸(駅～支所・コミセン～木綿街道)を回遊の軸に。
・中心部に複合施設を整備、イベントや祭り空間も内包、交流ゾーンに。
- 周辺部と中心部のバランス
・中心部の都市機能、周辺部の自然・リフレッシュ機能、双方のアクセスを確保。
・周辺部も、都市型企業のサテライトオフィスなど小さなビジネス拠点の形成も。
- 若者を育むまち
・平田高校生はじめ平田地域に関わる若者を育む孵卵器としてのまち造り
- 民間活力の導入(PFI手法等)
・地元企業など民間の知恵・資金等を活用、効率的な公共施設整備を

- コンパクトな中心部と人が回遊・交流するまち
- 周辺部と中心部のバランス
- 若者を育むまち
- 民間活力の導入(PFI手法等)

- コンパクトな中心部と人が回遊・交流するまち
- 周辺部と中心部のバランス
- 若者を育むまち
- 民間活力の導入(PFI手法等)

- ワークショップから Hirata Diamond**
 - ◆水と人の流れるまち ◆施設の掛け合わせ(電車×カフェ etc.)
 - ◆空家改修でオープンスペースを ◆地域の子供たちが遊べる公園を
 - ◆河との連続性のある公園整備 ◆防災センター的な機能も
 - ◆複合施設周辺に店出たくなる雰囲気 ◆中心部のDiamondゾーンが大事(駅-支所-コミセン-木綿街道)(ひし形)



中心部の機能強化

- ◆複合拠点=支所+コミセン+健康増進・防災施設(アリーナ)+市民活動施設 ↑若者も利用しやすく
- ◆雲州平田駅に道の駅
- ◆環境整備、交流空間



◆ダイヤモンドの原石は磨けば光る

◆平田地域はダイヤモンドの原石である

Hirata Diamond